

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	サービス計画書の作成にあたり内容の目標設定があいまいで出来ていない。そのため、モニタリングを行う上で、プランの実施状況がわかりにくい。	具体的な目標を設定し実践に繋げる。	サービス内容の目標の頻度を具体的に設定する。又、レクリエーション表に家事参加や散歩等を取り込みその記録をもとに実施状況の根拠とする。ケアプランに番号を付けてそれをもとに個人記録に記載する。	6か月
2	24	一人ひとりの生活歴、どんな仕事をしてたか？趣味嗜好、嫌な事、その他の情報を収集し課題分析する必要がある。	本人、家族からこれまでの生活ぶり等の情報を収集しグループホーム独自のフェースシートを作成し支援に繋がるようにする。	入居時、基本情報を収集しグループホーム独自のフェースシートを作成する。その情報をもとに課題分析しプランに繋げる。又気づいた事は追記できるようにし見直しに反映する。	12か月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。